

銚子駅ストを貫徹したぞ

日刊

動労千葉

1988.6.20
No. 2839

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二（22）七二〇七

銚子市民、動労千葉110名の部隊に熱き注目

つぎは、館山駅だ！

動労千葉の怒りの闘いの戦線は、千葉から東京、そして北総に拡大された。この戦線の拡大は同時に、「直営店スト」から「駅・営業スト」への拠点の拡大でもある。

先の三波のストライキを、圧倒的勝利でちとつてきている動労千葉の『新たな進撃』は、十六日、銚子駅でちとられた。
銚子駅には、続々と組合員が結集した。家族会も参加している。

スト突入を前にして、結集した全組合員で闘争貫徹の意志一致をし、間髪を入れずに街宣とピラマキを始める。

横に長い銚子の駅舎は、端から端まで横断幕とプラカードそして動輪旗、それにゼッケンをつけた組合員で埋め尽くされた。

そのようななか、駅当局にスト突入を通告し、組合員の大拍手に迎えられた銚子支部鎌形君は、「ガマンにも限度がある。当局の不当な攻撃が続けば何度でもストに起つ」と堂々と動労千葉の闘いの正義性を示した。

支援にかけつけてくれた動労水戸の激励も受け、銚子駅ストは大勝利のうちに貫徹された。
スト終了後、市内デモ行進に出発。銚子市民にJR当局の不当性を暴露した。

デモの終了地点、門にロープをはりめぐらした銚子運転区前では、革マル・鉄道労連に対する怒りのシュプレヒコールは最大限に達した。



「不当な攻撃があれば何度でもストに起つ」銚子の仲間とともに決意を固めるストライキに決起した鎌形君。



銚子駅前を埋めつくした動労千葉の部隊は市民の熱い注目を浴びる。



「銚子運転区の悪質な鉄道労連を解体するぞ！」と怒りのシュプレヒコール。会社側は、銚子支部を先頭とした動労千葉の決起に恐怖し、銚子運転区の門にロープを張りめぐらせた。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！